

Event

半島イベント

半島でやりたいことを考えよう! 第2回俵ヶ浦半島ミーティング

2016年12月12日(月) 19時～21時
俵浦小学校体育館で開催。
【暖かい服装でご参加ください。】

参加者
募集

半島住民参加型のまちづくりを語る「俵ヶ浦半島ミーティング」。第1回目は、「俵ヶ浦半島、10年後の未来予想図」をテーマに、10年後の俵ヶ浦半島のこと、食・観光・仕事・暮らし・教育についての様々なアイデアを語り合いました。その結果、多くの方々の心の中には「人」がいて、自然環境や景観、食、歴史といった半島ならではの魅力を活かして半島を活性化していきたいという思いがあることがわかりました。第2回目のテーマは、「半島でやりたいことを考えよう!」。九十九島が見える展海峰での地元の食材やうまかもんの提供、トレイルを活用した観光振興、廃校を活用した交流や営みの場づくり、空き家を活用した移住・定住など、第1回目でも話題にあがったような「半島でやりたい事業アイデア」を、もっと具体的に、ワイワイ楽しく語りたいと考えています。今回からの参加も大歓迎!「俵ヶ浦半島の未来は、半島住民で考え、つくっていく。」ご近所・友人をお誘いのうえ、たくさんのご参加お待ちしております。



Needed

お助け掲示板

移住希望者情報・空き家情報募集

地域で受けた移住希望者の相談事例や地域の空き家情報を提供してください。

移住受入の準備のため、貸したい、売りたいなどの所有者の意向や、課題も含めた空き家情報を調べています。

佐世保市も一緒に、俵ヶ浦半島への移住受入のお手伝いをしていきます。

情報の提供先、お問い合わせ先はコチラ
佐世保市都市政策課(担当 宮崎)0956-24-1111内線2806

WANTED



俵ヶ浦半島TIMES VOL.3

発行月 / 2016年11月

発行 / 俵ヶ浦半島開発協議会 会長 尾崎 嘉弘

企画編集 / (株)ルーツアンドパートナーズ 佐藤 直之、TMTY 富田 柚香子、竹林知樹スタジオ 竹林 知樹

協力 / 佐世保市政策経営課、都市政策課、(公財)佐世保観光コンベンション協会

制作 / (株)ルーツアンドパートナーズ、(株)NO PLANNING、深澤デザイン

撮影協力 / 渋谷 香奈、相良 利博

問合せ / 俵ヶ浦半島開発協議会(TEL:080-5206-9506(富田))

Vol. 3 2016.11

未来へつなぐ半島時間。

俵ヶ浦半島

Tawaragaura Peninsula

TIMES

News

半島の旬をお届け

工房は自然豊かな俵ヶ浦半島に。 木工作家の堀 宏治さんを案内

関東からUターンを希望する堀さんに、秋空の俵ヶ浦半島を案内しました。現在、神奈川県鎌倉市で木工作家として活躍している堀さんは、佐世保市早岐の出身。元々、都会よりも海や山に囲まれた自然豊かな場所が好きで、佐世保にいらるから、半島をよくドライブしていたそうです。インターネットの普及で、地方に暮らしながら仕事をすることも可能な時代です。「いつかは佐世保に戻ってくるつもりで今の仕事を頑張ってきたんです。取引先がある程度できて、自身のマーケットも広がりつつある。まだまだ十分ではないけれど、一念発起して佐世保へ帰る決断をしました。」俵ヶ浦半島を移住先に選んだ理由は、「理屈抜きにキレイな場所だから。」直感でここに住みたい!と思ったそう。何よりも自然の中に身を置けることが理想的だと言います。地域に溶け込んだ暮らしの中から紡ぎ出す木の器たち。「これからは佐世保から、僕の作品だけでなく、近隣の工芸品、特産品や佐世保の情報を全国へ発信していきたい。」と考えています。



10月16日(日)展海峰コスモスウォーク開催

Topics ① 俵ヶ浦町歴史遺産トレイルを活用した新コースで開催!

Topics ② 展海峰では当日限定のチャレンジカフェ&マルシェ「俵ヶ浦半島のおいしいもの食堂」も開店

天候が心配された今年の展海峰コスモスウォーク。参加者は172名と前回の半数ほどでしたが、開会式のころには雲が切れはじめ、次第に青空も見えて、皆さん笑顔でゴールとなりました。今回初のお披露目となった「俵ヶ浦町歴史遺産トレイル」、丸出山観測所跡からの絶景を初めて見た方も多く評価は上々。ゴール後は、恒例となったぜんざいのふるまい、各町の手作り料理に加えて、今回初の試み「チャレンジカフェ&マルシェ」では、地元産の野菜や果物を使ったスムージーやスイーツ、オリジナルブレンドのスペシャルティコーヒー、そして採れたて野菜の販売を、ウォーキング参加者だけでなく、観光客の皆さんにも楽しんでいただきました。



Topics

半島の 気になる 話題

福岡在住・竹林一家の感想

今春の菜の花ウォークからファンになった展海峰ウォーキングイベント。今回は、日本遺産となった丸出山観測所跡を通る俵ヶ浦町トレイル、地元産品のスイーツやオリジナルコーヒー等が出店される「おいしいもの食堂」に期待に胸をふくらませて福岡を出発。俵ヶ浦の豊かな風景、特に丸出山からの九十九島の絶景には大満足で、まだ3歳の長男も「きれいだねえ〜」と心を動かされていました。ゴール後は、いつものお楽しみ、ぜんざいやおでんに加えて、スムージーや展海峰寿司、極めつけはオリジナルコーヒーまで、お腹いっぱい胸いっぱいの休日となりました。

Person

半島のあの人

山口 昭正さん、郁さんご夫婦(俵ヶ浦町)、森宗 雅二さん(野崎町)、大谷 朋美さん(庵浦町)、岩崎 民子さん(下船越町)

おいしいもの食堂に出店した各町の方々。山口昭正・郁さんご夫婦は農家を営み、とれたての野菜や果物でスムージー作りに初挑戦。スムージーは評判上々で売れ、野菜直売も自ら店頭立って半島の魅力をPRしました。焙煎屋を営む森宗さんは、地元でカフェ開業を夢見る大谷さんと手を組み、オリジナルコーヒーを提供。客足が絶えずに好評でした。また、岩崎さんの無農薬の栗を使い、当日は栗スイーツも販売。地元の人や資源が主役になった取り組み、もっと広がっていきますように。



山口 昭正さん、郁さんご夫婦



森宗 雅二さん、大谷 朋美さん

My Favorite

半島のお気に入り

海に見える新居に夢が膨らむ

俵ヶ浦町 バーゲンハイアーさんご夫婦

佐世保港と大島を一望する新築予定地でおふたりは伐採の作業中。手を休めて笑顔で取材に応じてくださいました。佐世保市出身のモト子さんとアメリカ人のウォルターさんは7年前に結婚。昨年12月に帰国するまで3年間、アメリカユタ州の自然豊かな田舎町に暮らした経験が、自分たちのライフスタイルを決めたと言います。「お店が近いとか便利とかより、毎日こんな豊かな環境で暮らすことのほうが大切なこと。」帰国して俵ヶ浦に土地を求めるうちにこの地に出会い、幸い既存宅地だったこともあり、譲ってもらうことに。来年3月に完成する家の模型を手に、半島ライフに夢が膨らむおふたりでした。



Lifestyle

半島の役立つ暮らし情報

冬の味覚「九十九島牡蠣」出荷

秋も深まり北東の風が吹き始めると「九十九島牡蠣」のシーズン。ここ俵ヶ浦半島では5軒の養殖業者が、波穏やかで干満の差が大きい海域の特性を生かして、小ぶりながら濃厚な味わいの牡蠣を育てています。九十九島の滋養をたっぷり含んだ冬の味覚。俵ヶ浦町の深見水産でも、地域の方のお手伝い5人を含めて総出で出荷作業を進めているそう。「今季の出荷は30tくらいかな。旨かばい。」と深見社長。展海峰のかき焼き小屋では、来年3月末まで焼きたてを味わうことができるほか1kg500円で直売も。下船越の筏でも購入できます。



History

半島の歴史秘話

トレイルで探検 「佐世保要塞」「丸出山砲台観測所跡」

佐世保湾の西岸を成す俵ヶ浦半島には、軍港に指定された佐世保港を外敵から護るため、明治30年代に旧日本陸軍が築いた「佐世保要塞」の遺構が数多く残っています。明治維新を経て国際社会の一員となった日本が、当時の技術の粋を尽くして築いた要塞群。なかでもトレイルで目指す「丸出山砲台観測所跡」からは、九十九島の島々が連なり、島国、日本の原風景ともいえる景観が広がります。これらの遺構は、4月に文化庁の認定を受けた日本遺産「鎮守府 横須賀 呉 佐世保 舞鶴 日本近代化の躍動を体感できるまち」の構成資産となっています。



丸出山砲台観測所跡



小首砲台跡

高後崎灯台跡